

ZOOM®

L12next

LiveTrak



クイックツアー

製品に関するソフトウェアや、ドキュメント（取扱説明書・チュートリアルビデオなど）は以下の Web サイトでご覧いただけます。



zoomcorp.com/help/l12next

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください。

© 2025 ZOOM CORPORATION

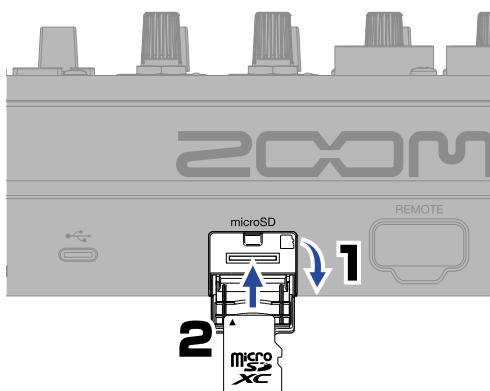
本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

白黒端末では正しく表示できません。

microSD カードをセットする



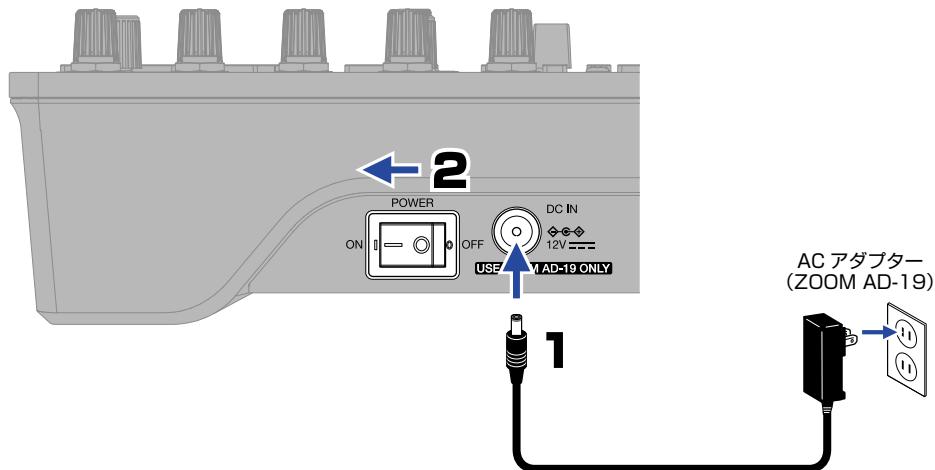
対応記録メディア

- ・ microSDHC メモリーカード
- ・ microSDXC メモリーカード

※動作確認済み microSD カードの使用をお勧めします。
ZOOM の Web サイト (zoomcorp.com/help/) で確認してください。

- ・ microSD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください。
- ・ microSD カードを取り出すときは、一度スロットの奥に押し込んでから引き抜いてください。
microSD カードが飛び出さないように注意ください。

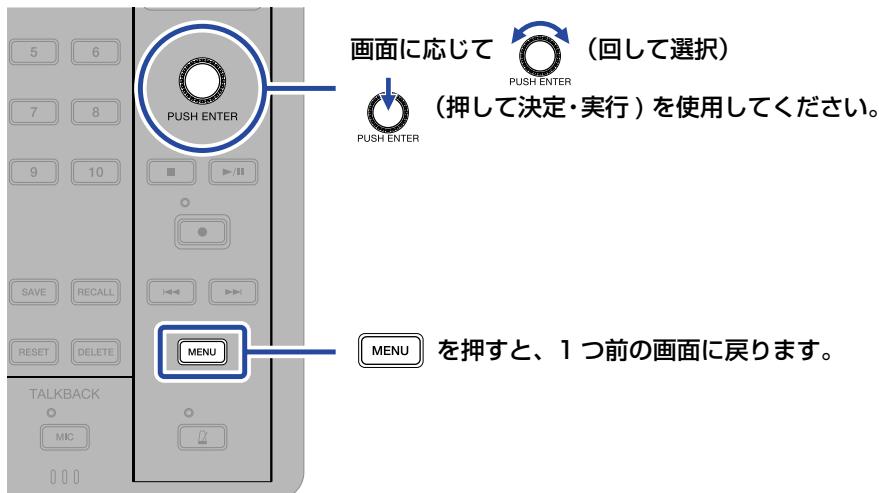
電源を入れる



初期設定では、操作をしない状態で 10 時間経過すると自動的に電源が切れます。
常に電源を ON に設定することもできます。

初回起動時の設定を行う

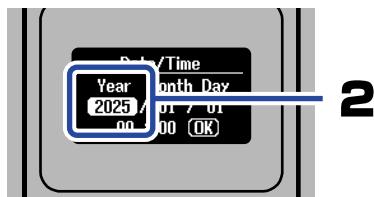
■画面の操作方法



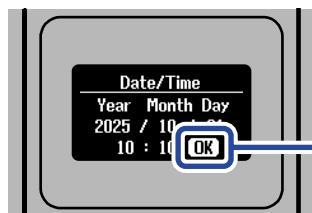
日時設定



で設定項目を選択して、
で決定する



で値を変更して、
で決定する



全ての項目を設定したら、「OK」を選択
して、で日時設定を終了する
ここで設定した日時は、録音ファイルが保存
されるフォルダ名として記録されます。

SD カードテスト

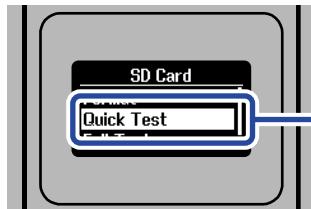
L12next で初めて使う microSD カードをセットした場合、SD カードテスト画面が表示されます。クイックテストは microSD カードの容量に関わらず 30 秒程度で性能を確認できるので、テストすることをお勧めします。

フルテストは全領域を確認するため、microSD カードの容量に応じて必要な時間が変わります（64 GB で約 3 時間）。

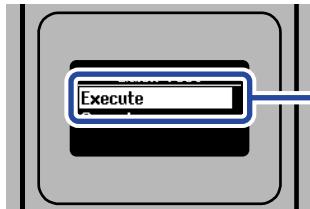
SD カードテストは、メニュー画面からいつでも行えます。



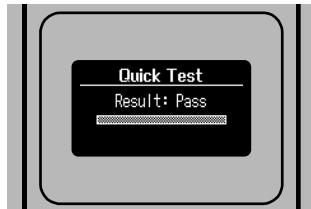
1  でメッセージを消す



2



3



 を 2 回押して、ホーム画面
を表示します。

■ ホーム画面

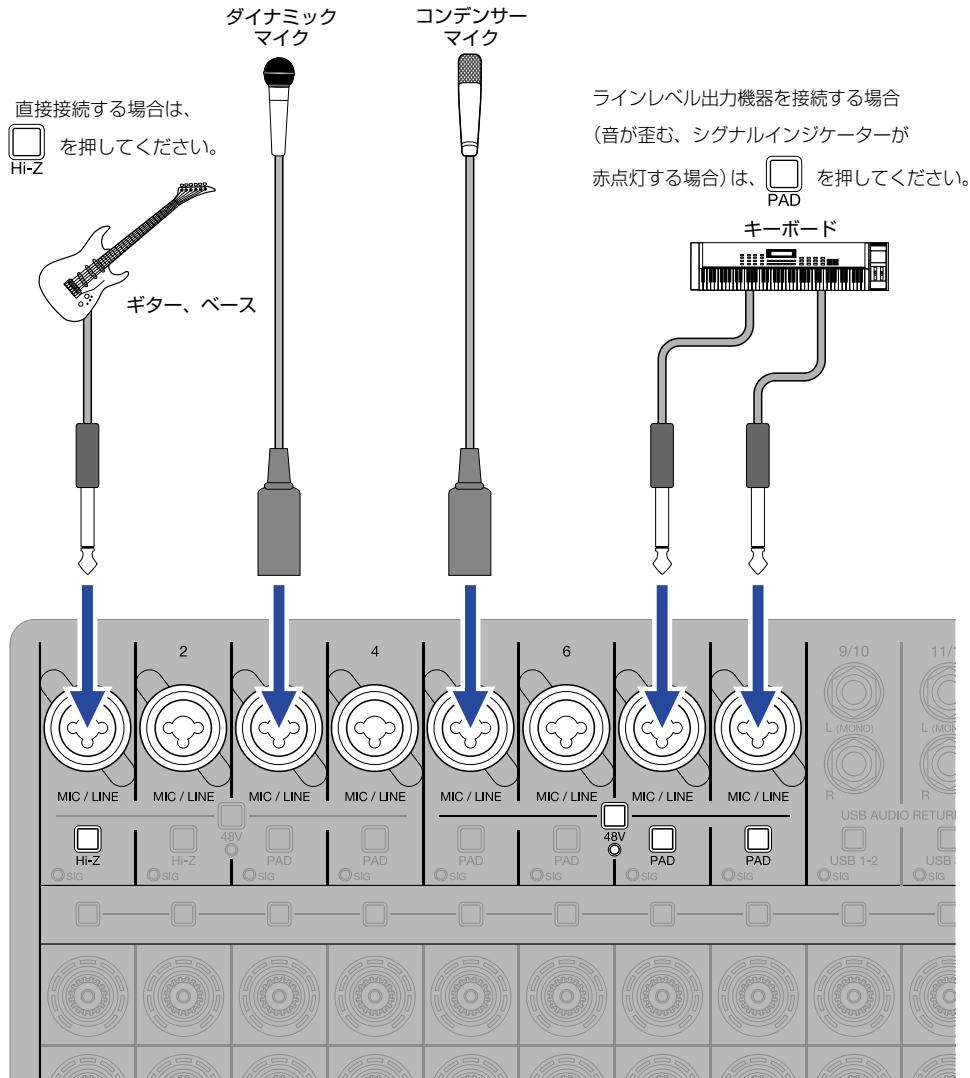


接続する

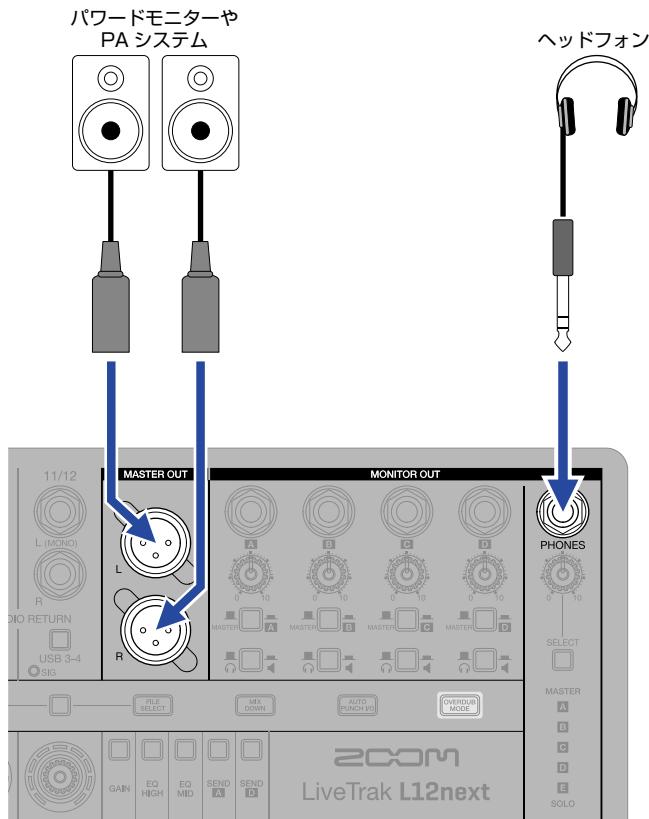
マイクや楽器を接続する

コンデンサーマイクを接続する場合は、
 を押しファンタム電源を供給してください。
48V

ファンタム電源に対応していない機器にはファンタム電源を供給しないでください。機器が破損することがあります。



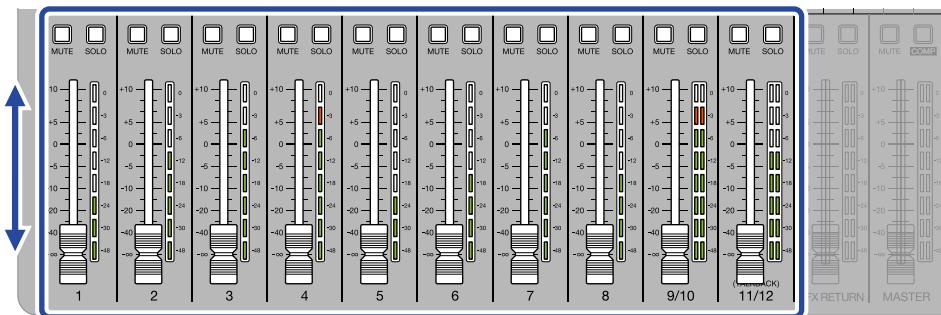
パワードモニターやヘッドフォンを接続する



ノイズの発生や故障を防ぐために、パワードモニターは接続が終わってから電源をオンにしてください。

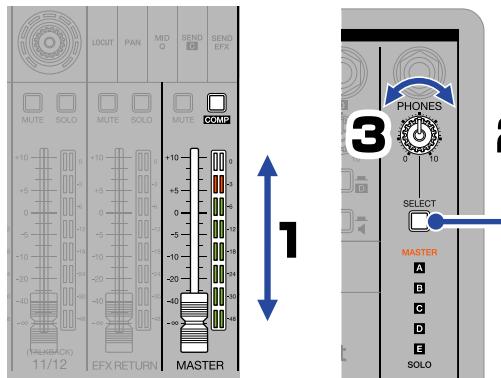
音量、音質、定位を調節する

各チャンネルの音量を調節する



	押して点灯させると、そのチャンネルからMASTERへ送る信号をミュートします。各チャンネルの録音データはミュートされず、録音されます。
	押して点灯させると、チャンネルフェーダー通過前の信号をMONITOR OUT端子(PHONES)から聞くことができます。このとき、MONITOR OUT端子(PHONES)から出力される信号は自動的にSOLOが選択されます。

出力音量を調節する



2 MONITOR OUT端子(PHONES)から出力される信号を選択する

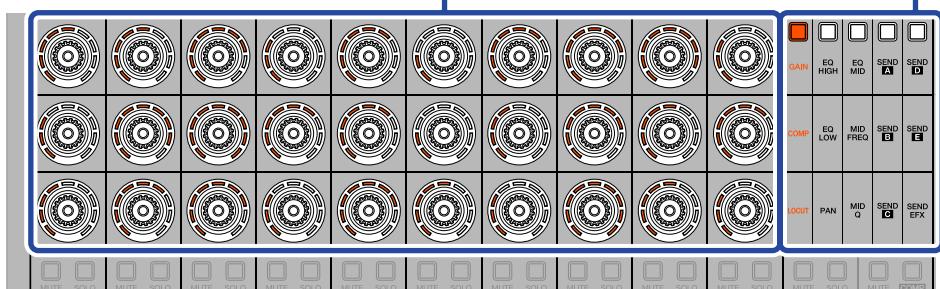
MASTER	マスターフェーダー通過後の信号
A B C D E	SEND A～Eの信号
SOLO	SOLO(ソロ)を押して点灯させたチャンネルの信号

を押して点灯させると、マスターフェーダーを通過する信号の音圧を上げます。

各チャンネルの音質や定位を調節する

回して調節する **2**

押して調節したい設定を点灯させる

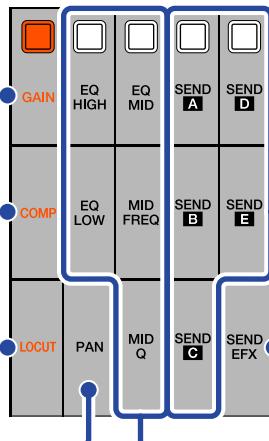


入力ゲインを調節します。

コンプレッサーのかかり具合
を調節します。

低域をカットします。

左右の定位を調節します。



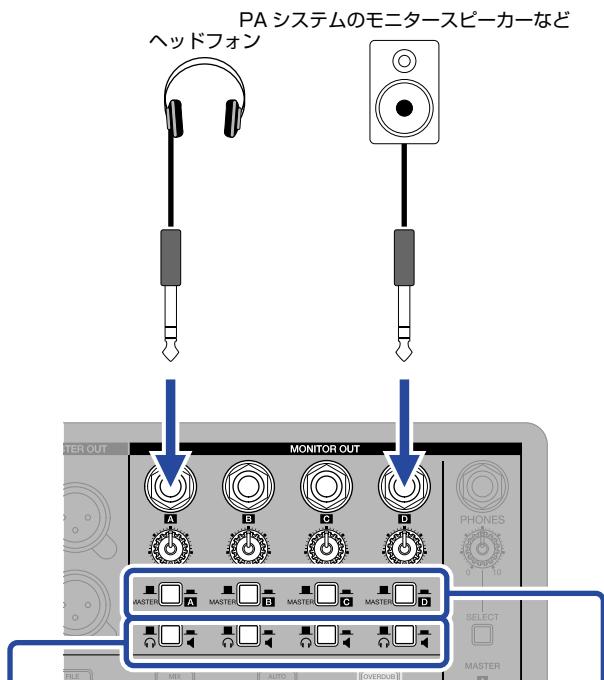
SEND (A ~ E) への
送り量を調節します。

エフェクトの送り量を
調節します。

音質（低域・中域・高域など）
を調節します。

■ MONITOR OUT 端子 (A ~ D) を使用する

マスター・フェーダー通過後の信号を出力したり、SEND A ~ D の信号を出力できます。また、ヘッドフォン以外にもモニタースピーカーなどを接続することができます。



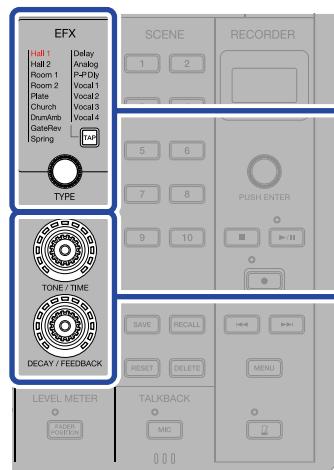
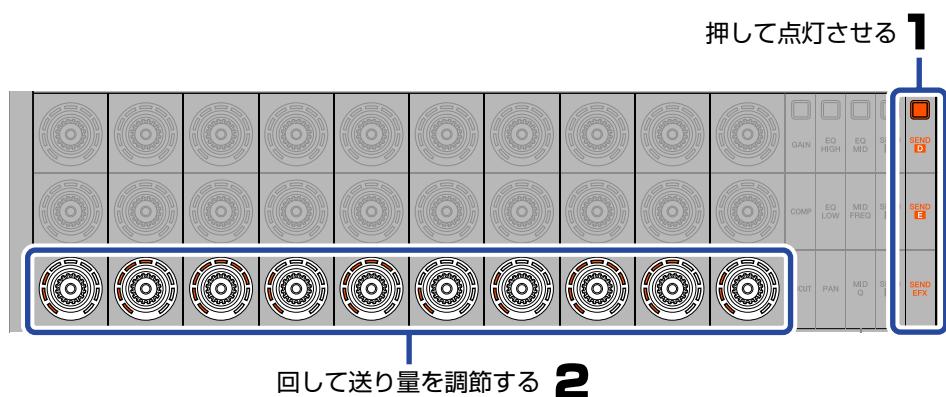
: ヘッドフォンを接続します。
(ステレオ信号を出力します。)

: パワードモニターなどのライン機器
を接続します。(モノラル/バランス
信号を出力します。)

: MASTERと同じミックスバランスで
出力します。

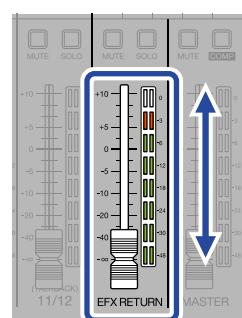
: SEND A ~ Dのミックスバランスで
出力します。

内蔵エフェクトを使用する



3 でエフェクトを
選択して、 で
決定する

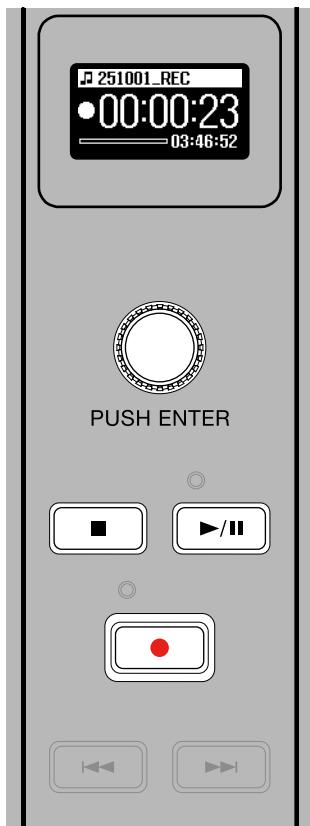
5 パラメーターを調節する



4 EFX RETURN の
音量を調節する

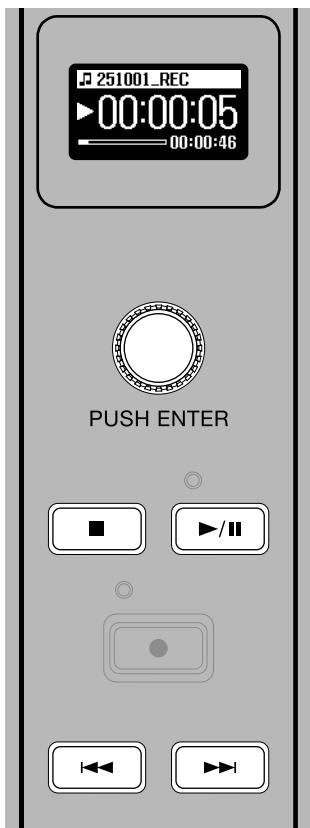
Delay から Vocal 4 までのディレイタイムは **TAP** を押した間隔でも設定できます。

録音／停止する



	録音を開始します。
	録音を停止します。
	録音中に押すと、録音中の特定の時点にマークを付けます。
	録音中は、録音を一時停止／再開します。

再生／停止する



	再生を開始します。 再生中は、再生を一時停止／再開します。
	再生を停止します。
	再生中に押すと、マークを付けます。 回すと、再生位置を変更できます。
	前のプロジェクト／プロジェクトの先頭／前のマークに移動します。 長押しすると、早戻しします。
	次のプロジェクト／プロジェクトの最後／次のマークに移動します。 長押しすると、早送りします。

オンラインヘルプの 2 次元コードを表示する

メニューの Help を選択すると 2次元コードを表示します。

スマートフォンで読み取ると、取扱説明書など製品に関する詳しいドキュメントをご覧いただけます。



1 MENU を押す



2



で選択して、



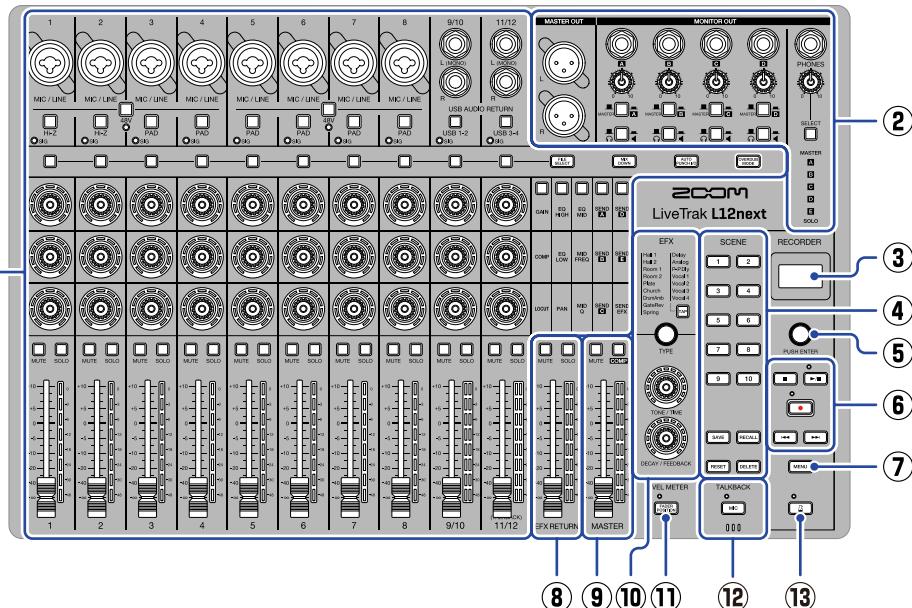
で決定する



zoomcorp.com/help/l12next

各部の役割

■本体上面



① チャンネル操作セクション

マイクやギター、シンセサイザー、エフェクターなどを接続したり、各チャンネルの入力設定、音質／定位／音量やエフェクトへの送り量の調節などの操作をします。

② アウトプットセクション

パワードモニター、PAシステムやヘッドフォンを接続して、マスター出力やモニター出力の調節をします。

③ ディスプレイ

ホーム画面やメニュー画面などから、さまざまな情報を表示します。

④ シーンセクション

L12nextの設定を保存したり呼び出したりします。

⑤ セレクトノブ

- メニュー画面表示中、回して項目を選択、押すと選択した項目を決定します。
- 録音／再生中に押すと、マークを付加できます。

⑥ レコーダーセクション

録音／再生の操作をします。

⑦ MENU キー

ホーム画面で押すと、メニュー画面を表示します。

メニュー画面表示中に押すと、前の階層に戻ります。繰り返し押すと、ホーム画面に戻ります。

⑧ EFX RETURN 操作部

- EFX RETURN フェーダー：内蔵エフェクトから MASTER に送る信号レベルを -∞ から +10 dB の範囲で調節します。
- EFX RETURN レベルメーター：内蔵エフェクトから EFX RETURN フェーダーを通過し、MASTER に送る信号のレベルを、-48 dB ~ 0 dB の範囲で表示します。
- MUTE キー：押して点灯させると、ミュートします。
- SOLO キー：押して点灯させると、EFX RETURN フェーダー通過前の信号を MONITOR OUT 端子 (PHONES) から聞くことができます。このとき、MONITOR OUT 端子 (PHONES) から出力される信号は自動的に SOLO が選択されます。

⑨ マスター操作部

- マスターフェーダー：MASTER に送る信号レベルを -∞ から +10 dB の範囲で調節します。
- マスターレベルメーター：MASTER に送る信号レベルを -48 dB ~ 0 dB の範囲で表示します。
- MUTE キー：押して点灯させると、ミュートします。
- COMP キー：マスター出力にコンプレッサーを使用して、音圧を上げることができます。

⑩ センドエフェクトセクション

内蔵エフェクトを選択したり、選択したエフェクトのパラメーターを調節します。

⑪ FADER POSITION キー

押している間だけ、設定されているフェーダーの位置をレベルメーターに表示させます。

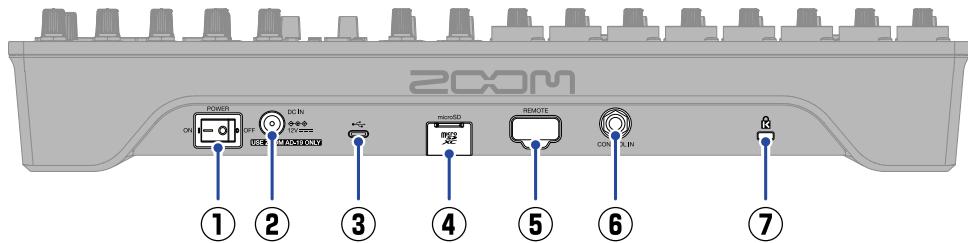
⑫ TALKBACK MIC キー／インジケーター

押している間だけ、トークバックマイクの入力が有効になります。有効時には、チャンネル 11/12 にトークバックマイクの音声が入力され、LINE 入力端子 (11/12) からの音声は入力されません。

⑬ メトロノームキー／インジケーター

メトロノーム画面を表示し、テンポ、クリックなどを設定します。メトロノームが有効なとき、インジケーターが点灯します。

■本体背面



① 電源スイッチ

電源を ON/OFF します。

② DC12V AC アダプター端子

専用の AC アダプター (ZOOM AD-19) を接続します。

③ USB 端子 (Type-C)

パソコンまたはスマートフォン／タブレットと接続して以下のことができます。

- ・ファイル転送機能を使用する (パソコンのみ)
- ・L12next をオーディオインターフェースとして使用する
- ・L12next を MIDI 機能を使ってコントロールする

④ microSD カードスロット

microSD カードを挿入します。

⑤ REMOTE 端子

専用無線アダプター (ZOOM BTA-1 など) を接続します。

専用アプリケーションを使って、iPad からワイヤレスで L12next を操作できます。

⑥ CONTROL IN 端子

フットスイッチ (ZOOM FS01) を接続することができます。

フットスイッチにレコーダーの再生／停止、マニュアルパンチイン／アウト、内蔵エフェクトのミュートのいずれかの機能を割り当てることができます。

⑦ ケンジントンロック

ワイヤーやチェーン状の固定器具を差し込み、L12next を固定します。

その他の機能

詳細は取扱説明書（表紙に記載）を参照してください。

■ USB 機能

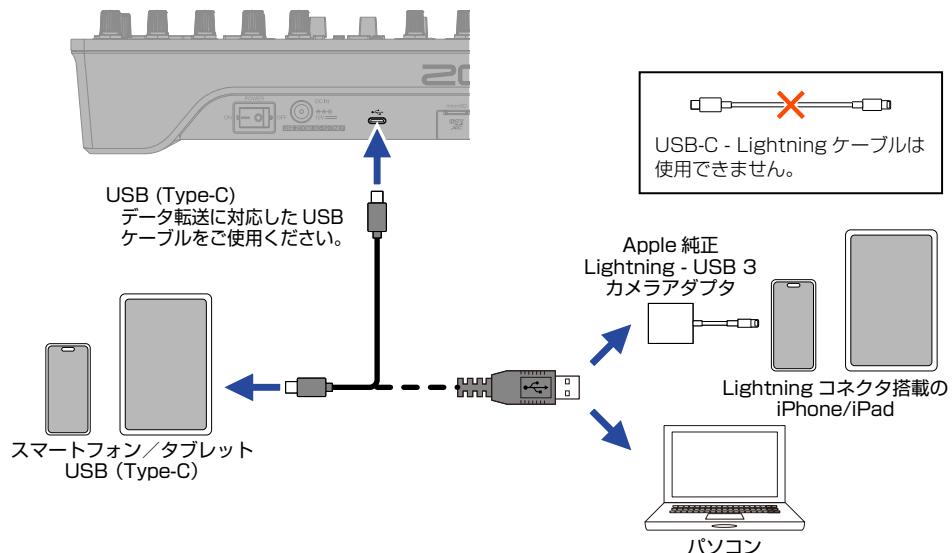
・オーディオインターフェース

パソコンやスマートフォン／タブレットと接続して 14IN/40OUT のオーディオインターフェースとして使用できます。

Windows パソコンと接続する場合は、ドライバのインストールが必要です。最新のドライバは ZOOM の Web サイト (zoomcorp.com/help/l12next) からダウンロードできます。

・ファイル転送

パソコンやスマートフォン／タブレットと接続して microSD カード内のファイルの確認や移動ができます。



■シーン機能

ミキサーの設定をシーンとして保存し、いつでも呼び出せます。

■TALK BACK

 を押している間、TALKBACK マイクの音声をチャンネル 11/12 に入力します。TALKBACK マイクの音声を各 MONITOR OUT に送ることで演奏メンバーへの指示出しなどに使えます。

■メトロノーム

テンポや音色、録音／再生時に鳴らすかなど、メトロノーム機能に関して設定できます。

■カウンター表示切り替え

ホーム画面のカウンターを「時:分:秒」または「小節 . 拍 . ティック(拍を細かくしたもの)」から選択できます。

■オーバーダビング

すでに録音されている音を再生しながら、別の音を録音することができます。

■パンチイン・アウト

すでに録音されているトラックの一部分のみを録音し直すことができます。

■FILE SELECT

各チャンネルにファイルを割り当てるときに、メニュー画面を開きます。

■ミックスダウン機能

ミキシングが終了したプロジェクトファイルを、ステレオファイルとして書き出すことができます。

故障かなと思う前に

問題	解決方法
音が出ない、もしくは非常に小さい	<p>ヘッドフォンや出力のケーブルが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されても音が出ない場合は、ケーブルの断線が考えられます。ヘッドフォンや出力のケーブルを交換してください。</p> <p>各端子への接続を確認してください。</p> <p>ゲイン設定やマイクの向き、接続機器の音量設定を確認してください。</p> <p>MASTER OUT や MONITOR OUT の音量が下がっていないか確認してください。</p> <p>各チャンネルの音量を確認してください。</p> <p>ファンタム電源の設定を確認してください。</p> <p>各チャンネルやマスターのミュート設定を確認してください。</p> <p>パッシブタイプのギターやベースは、MIC/LINE 入力端子（1 または 2）に接続し、 を ON にしてください。</p> <p>接続機器を入力端子（1 ~ 12）に接続するケーブルが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されても音が出ない場合は、ケーブルの断線が考えられます。ケーブルを交換してください。</p>
モニター音が歪む	<p>レベルメーターが一番上まで点灯していないかを確認してください。点灯している場合は、チャンネルフェーダーやマスターフェーダーで音量を調節してください。</p> <p>MONITOR OUT ノブ（A ~ D）または（MONITOR OUT ノブ（PHONES））で MONITOR の音量を調節してください。</p> <p>シグナルインジケーターが赤色に点灯していないことを確認してください。点灯する場合は、ゲインを調節する、接続している機器の音量を小さくする、マイクの位置や向きを調節する、または を押してください。</p>
モニター音が出ない、もしくは非常に小さい	<p>各出力のミックスバランスを確認してください。</p> <p>モニターの音量、スイッチの設定を確認してください。</p>

問題	解決方法
録音した音が大きい、小さい、もしくは無音	入力される音声が大きすぎます。マイクと音源の距離を離す、または接続機器の音量を下げてください。 コンデンサーマイクを使用している場合は、  が ON になっていることを確認してください。
録音できない	microSD カードに空き容量があることを確認してください。
	カードスロットに microSD カードが正しくセットされていることを確認してください。
	オーバーダビングモード時は、チャンネルセレクトキーが赤色に点灯していることを確認してください。
	プロジェクトのプロテクトが ON になっているときは、OFF にしてください。
録音した音声が途切れる	本体のカードテスト機能を使って、テストに合格したカードを使用してください。 詳細はオペレーションマニュアルを参照してください。
	動作確認済み microSD カードの使用をお勧めします。 ZOOM の Web サイト (zoomcorp.com/help/l12next) で確認してください。
録音したファイルが壊れている	録音中に電源遮断などの問題が発生した場合でも、一定時間ごとにファイルが自動保存されているため、microSD カードを L12next に読み込み、該当ファイルを再生することで、正常なファイルとして復帰させられる場合があります。
再生している音が聞こえない、もしくは小さい	オーバーダビングモード時は、チャンネルセレクトキーが緑色に点灯していることを確認してください。
	再生チャンネルのフェーダーを上げ、レベルメーターが点灯していることを確認してください。
内蔵エフェクトがかからない	EFX RETURN フェーダーを上げ、レベルメーターが点灯していることを確認してください。
	センドエフェクトセクションのミュート設定を確認してください。
	各チャンネルの内蔵エフェクトへの送り量を確認してください。

問題	解決方法
MONITOR OUT A～E の音が出ない、もしくは非常に小さい	各出力のミックスバランスを確認してください。
	各出力のボリューム (MONITOR OUT ノブ (A～D、PHONES) が上がっていることを確認してください。
	MONITOR OUT 出力切り替えスイッチ (A～D)、MONITOR OUT (PHONES) 出力選択キーの設定を確認してください。
パソコンやスマートフォン／タブレットと USB 接続しても認識されない	データ転送に対応した USB ケーブルを使用してください。 充電専用ケーブルではデータ転送できません。
日時情報がリセットされる	長期間 AC アダプターから電源が供給されない状態が続いた場合、本体に記憶した情報がリセットされます。 電源起動時に日時の設定画面が表示された場合は、設定し直してください。

Microsoft、Windowsは、マイクロソフト企業グループの商標です。
iPadおよびLightningは、Apple Inc.の商標です。
iPhoneの商標はアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。
microSDXCロゴは、SD-3C LLCの商標です。



USB Type-Cは、USB Implementers Forumの商標です。
文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。
他の者が著作権を保有するCD、レコード、テープ、実演、映像作品、放送などから録音する場合、私的使用の場合を除き、権利者に無断での使用は法律で禁止されています。著作権法違反に対する処置に関して、株式会社ズームは一切の責任を負いません。
文中のイラストおよび表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

zoom[®]

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-4-3
zoomcorp.com